

N95マスク UV-C 除染プロセス

- ・除染作業の際は、施設内の感染対策手法に従って作業を行って下さい。
- ・UV-C照射装置を使用する際の注意事項をよくお読みください。

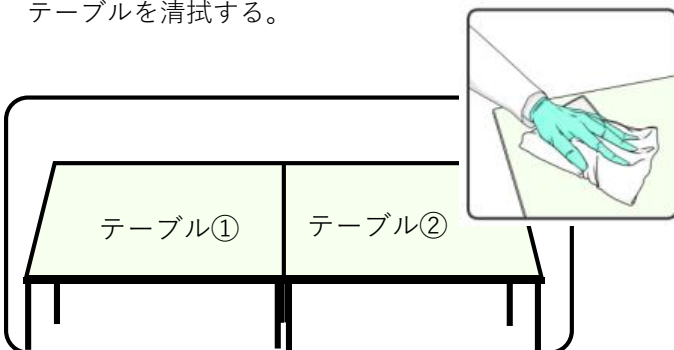
①マスクの準備：マスクに名前を書く



- 必ずマスクに使用者の名前を油性ペン（施設指定の消えないペン）で記入すること。
- UV-C照射の回数がかかるように、マスクにはチェックマークもしくは回数を記載する。

②UV-C照射準備： テーブルを2台並べて清拭する

- 2台のテーブル（テーブル①、テーブル②）を並べ、テーブルを清拭する。

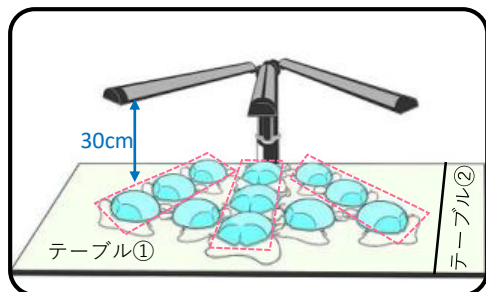


③UV-C照射準備（マスクの外側）： テーブル①にマスクを並べる

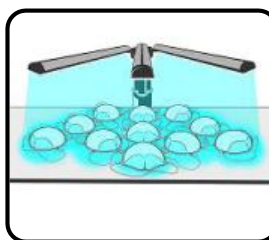
- テーブル①の中央にMoonBeam3を設置する。
- マスクの外側が上になるように並べる。

※注意1：テーブル②には何も置かない。
※注意2：効率的にマスクへの照射光量を確保するため、下記条件で設置する。

- UV-Cランプからテーブルまでの距離が、30cmとなるように高さを調整する。
- マスクをUV-Cランプの直下（図の破線部内）及びその間に設置する。
- マスクや頭紐が重ならないように注意する。
- ドア付きの部屋やパーテーションを用いて、人がUV-Cに曝されないようにする。



④UV-C照射（マスクの外側）：



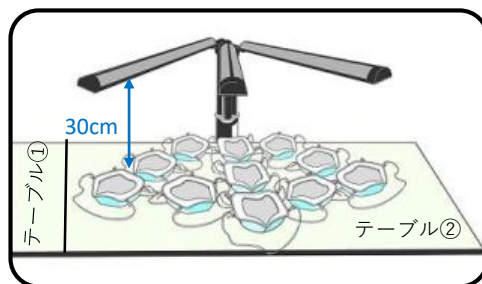
- 照射時間を5分に設定しUV-Cを照射する。

※以下の条件で、マスクに照射されるUV-Cの積算光量が1000mJ/cm²以上となる。

- ・UV-Cランプからの距離：30cm
- ・照射時間：5分

⑤UV-C照射準備（マスクの内側）： MoonBeam3及びマスクの移動

- MoonBeam3をテーブル②の中央に移動する。
- テーブル①のマスクをテーブル②に移動し、マスクの内側を上に向けて並べる。



⑥UV-C照射（マスクの内側）： マスクの内側にUV-Cを照射する



- 照射時間を5分に設定しUV-Cを照射する。

- ⑤と⑥の作業を1サイクルとして、UV-Cを照射する。
- 長時間連続してUV-Cを照射するとランプが熱くなるので注意する。

⑦マスクの梱包：



- UV-C照射後のマスクは、ラベルの付いたバックに入れ、使用者に返却する。

警告 継続的に紫外線C (UV-C) に曝されると、目が充血したり皮膚がやけどなどを生じることがあるので、人に対して絶対に直接照射しない。

注意 人や物の動作をモーションセンサーが感知すると照射を停止するため、照射時は人の立ち入りを禁止する。
・運転中、運転終了後、紫外線C (UV-C) ランプ及びリフレクタヘッドが高温になるため、殺菌サイクル終了直後のリフレクタヘッドには絶対触れない。
・照射をするときは、水平な床面で使用する。